

審査の経緯

審査は平成 27 年 2 月 21 日（土）、午前 10 時半から 14 時で行った。審査員は建築学科教員 3 名、建築学科卒業生 2 名、クリエイティブデザイン学科からグラフィックデザインを専門とする教員 1 名の計 6 名である。

第一段階として、応募があった 202 作品から、各自 10 作品程度選出することとし、1 票以上の票が入った 42 作品を選び出した。

第二段階として、42 作品から各自 5 作品を選出することとし、9 作品に絞り込んだ。1 作品ずつ意見交換した上で、あらためて第二段階で選ばれていた 2 作品を追加して計 11 作品を対象に議論し、最終的には 6 作品を絞り込んだ。6 作品を対象としてさらに議論を重ねた結果、その中から最優秀作品 1 作品、優秀作品 1 作品、佳作を 4 作品とすることで結論に達した。

選定作品の解説

安全で快適な生活空間の創造とその教育を目指す心（ハート）と、建築 Architecture の A とをデザインモチーフとして学科のイメージを表現した。2 つの A（ハート）を重ねることで、将来に向かっての確かな教育と人材育成の姿勢をあらわした。また、ピンクは人や環境への思いやり、ブルーは建築の知識や技術という意味づけを行うなど、シンプルなデザインと構成の中に多くの意味を付加している。さらに審査委員会では、その中に建築学科の理念である 3 つの「C」や、建築物・立体造形物のイメージも重ね合わせることができるものとして、東北工業大学建築学科としての価値とイメージを表現するに相応しい作品と評価した。最優秀に相応しい作品として審査委員会で選定したものである。